

政策シート

政策名 06 森林管理を通じた環境対応社会への貢献

予算費目名 01 林業振興費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後)	◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。
------------------------	----------------------------------

政策の柱 (10年後)	◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。 ◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。 ◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。
------------------------	---

基本政策 02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

天竜美林の多面的機能の維持・拡大と林業・木材産業の成長産業化に向け、FSC森林認証制度に基づく持続可能かつ適切な森林管理と、天竜材を活用した新事業創出や天竜材の流通量及び販路を拡大することで、SDGsや脱炭素社会の実現に資する。

(3) 関連するSDGsのゴール

④教育	⑥水・衛生	⑨イノベーション	⑪都市	⑫生産・消費	⑬気候変動	⑮陸上資源		
-----	-------	----------	-----	--------	-------	-------	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	86,948	143,190	154,741	139,680		
決算	70,673	131,182	112,261			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	82,580	63,560	63,080	68,580		
年間経費(予算又は決算+A+B)	153,253	194,742	175,341	208,260		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
FSC認証林面積	ha	目標	45500	48900	49200	49500	49800	50100
		実績	48542	49130	49441			
FSC認証材生産量	m ³ /年	目標	103000	111,000	119,000	127,000	135,000	143,000
		実績	67,048	59,550	2022.8頃			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

FSC森林認証制度に基づく持続可能な森林整備・管理を推進するとともに、認証面積の更新・拡大も進め、市町村別認証面積日本一を維持した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
------	------

・適切な森林整備・管理により、FSC認証林面積は目標を達成することができた。
 ・FSC認証材生産量は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う景気低迷等により伸び悩んだ。
 ・昨年「第3次ウッドショック」と呼ばれる世界的な木材不足が生じており、国産材需要拡大のチャンスのため、積極的に安定した天竜材(FSC認証材)の供給を図りたい。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)	—	—	—		9,262	8,562	0.1				
2	森林・林業施設管理事業	—	—	—		13,599	11,819	0.1	0.3			
3	森林管理事業	○	○	○		42,162	7,422	4.5	0.9			
4	治山事業	—	—	—		51,740	40,540	1.6				
5	森林保護事業	—	—	—		41,298	22,538	2.0	0.7		0.8	
6	森林経営管理推進事業	○	○	○		50,199	48,799	0.2				
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						208,260	139,680	8.5	1.9		0.8	

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民の森林・林業に対する理解増進を目的に、啓発事業等を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費	④教育							
事業とゴールの関連性		負担金を支援している団体は、市民の森林・林業に対する理解増進を目的とした啓発事業等を行い、持続可能な都市の実現等に寄与している。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	8,430	8,528	8,688	8,562		
	決算	8,430	8,528	8,434			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	8,430	8,528	8,434	8,562		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	360	280	700		
人工	正規	0.1			0.1		
	再任用(31h)		0.1				
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.1			
年間経費(予算又は決算+A+B)		9,130	8,888	8,714	9,262		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
森林・林業体験活動への年間参加者数(人)			目標	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
			実績	2,827	1,392	1,193			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	06	01	001728000	01	林業振興課	小林 和重	2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

市民と森林のふれあいなどを目的とした施設運営や林業活性化を図る団体などに対する経費を負担する。

- ・天竜流域林業活性化センター
- ・静岡県立森林公園運営協議会
- ・奥浜名自然休養林保護管理協議会
- ・静岡県山林協会
- ・みなとモデル協議会
- ・静岡県水資源造林協議会
- ・浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・各施設の運営等に対する助成を行い、参加者の森林・林業に対する市民の理解が進んだ。
- ・浜北森林公園(自然体験プログラム参加者数): 1,153人
- ・天竜流域林業活性化センター(活動推進班活動参加人数): 40人

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・負担金を支払う団体等の活動内容や決算状況等を注視し、金額の算定等を精査して支出した。
- ・事業の統合・再構築を行い、「浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会」への負担金は本事業の一部とした。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・負担金を支払う団体等の活動内容や決算状況等を精査し、適切な負担金額の算定の見直しと対象団体との調整を行う。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

・市民と森林のふれあいなどを目的とした施設運営や林業活性化を図る団体などに対する経費を負担する(県立森林公園、奥浜名自然休養林、天竜流域林業活性化センター、静岡県山林協会、浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会 など)。

事業シート (事業名) 02 森林・林業施設管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

森林での余暇活動の促進、都市と山村との交流の促進、林業従事者等の健康増進などを目的に、森林・林業施設の管理・運営を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費	④教育							
事業とゴールの関連性		森林での余暇活動の促進、都市と山村との交流の促進、林業従事者等の健康増進などを目的とした事業は、持続可能な都市の実現等に寄与している。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	12,606	40,395	11,043	11,819		
	決算	11,572	39,640	9,889			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	11,572	39,640	9,889	11,819		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		5,980	2,820	2,660	1,780		
人工	正規	0.7	0.3	0.3	0.1		
	再任用(31h)	0.3	0.2		0.3		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.2			
年間経費(予算又は決算+A+B)		17,552	42,460	12,549	13,599		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
森林体験・交流施設(天竜林業体育館)年間利用人数(人)			目標	2,800	2,800	2,850	2,900	2,950	3,000
			実績	2,622	390	1,017			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	06	01	001728000	02	林業振興課	小林 和重	2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ①指定管理施設の管理事業
 - ・林業関係者の福利厚生及び中山間地域の交流人口の増加を目的とした「天竜林業体育館」の維持管理。
- ②森林ふれあい施設維持管理事業
 - ・市民と森林とのふれあいや市民交流の促進を目的とした次の9森林交流施設の維持管理。
(舞阪町民の森、三方原防風林、観音山水源の森、湖畔の森、光明山生活環境保全林、上野ふれあいの森、市民の森)



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ①指定管理施設の管理事業
 - ・天竜林業体育館年間利用人数:1,017人(新型コロナウイルス感染症対策による休業のため、利用者数が大幅に減少)
- ②森林ふれあい施設維持管理事業
 - ・市民が安全に森林と触れ合うことができるように、所管する7つの森林交流施設等を適切に維持管理した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・天竜林業体育館については、2020年度から新型コロナウイルス感染症対策による休業等のため、利用者数が大幅に減少。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・天竜林業体育館の指定管理期間は2019～2023年度の5年間。引き続き、管理は、周辺の4施設と一体管理としていく。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・施設の老朽化や市民ニーズの低下により利用人数が減少している施設について、施設のあり方を検討する。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ①指定管理施設の管理事業
 - ・林業関係者の福利厚生及び中山間地域の交流人口の増加を目的とした「天竜林業体育館」の維持管理。
- ②森林ふれあい施設維持管理事業
 - ・市民と森林とのふれあいや市民交流の促進を目的とした次の7森林交流施設の維持管理。
(舞阪町民の森、三方原防風林、観音山水源の森、湖畔の森、光明山生活環境保全林、上野ふれあいの森、市民の森)

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	06	01	001728000	03	林業振興課	小林 和重	2022.7.1

事業シート (事業名) 03 森林管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

FSC森林認証を活用し、市民に持続可能な森林経営・管理の大切さを啓発するとともに、市有林の適切な管理・保全を目的に、市有林の間伐等や森林を活用した地域企業等のCSR活動を推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(1)才						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	52	164					

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育		⑥水・衛生		⑨イノベーション
⑪都市	⑫生産・消費	⑬気候変動		⑮陸上資源			
事業とゴールの 関連性	FSC森林認証を活用し、市民に持続可能な森林経営・管理を推進する事業は、SDGs(持続可能な開発目標)に合致するものである。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	3,503	3,510	6,361	7,422		
	決算	2,798	1,740	6,756			
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,416	1,010	6,092	3,685		
	一般財源	1,382	730	664	3,737		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	46,040	36,900	36,900	34,740		
人工	正規	5.6	4.5	4.5	4.5		
	再任用(31h)	1.9	1.5	1.5	0.9		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		48,838	38,640	43,656	42,162		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
FSC森林認証面積(ha)	I-1(1) 才	52	目標	45,500	48,900	49,200	49,500	49,800	50,100
			実績	48,542	49,130	49,441			
FSC認証材生産量(m ³ /年)		51	目標	103,000	111,000	119,000	127,000	135,000	143,000
			実績	67,048	59,550	2022.8頃			
年間間伐実施面積(ha)		164	目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績	2,552	2,316	2023.2頃			
木材・木製品製造業 製造品出荷額 (億円/年)	I-1(1) 才		目標	450	300	300	350	400	450
			実績	98	2022.8頃	2023.8頃			
			目標						
			実績						

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	06	01	001728000	03	林業振興課	小林 和重	2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

【2019-2022 重点戦略項目No.52、164】

①森林認証推進事業

- ア 天竜林材業振興協議会に対する負担金(FSC森林認証更新審査料負担金)
- イ 可美小学校及び浜松こども館、新川モールのFSCプロジェクト認証取得のための審査手数料
- ウ グリーンレジリエンス推進事業(普及・啓発のための事業経費)

②市有林管理事業

- ア 市有林の間伐、下草刈等の整備
- イ 市有林を活用したCSR活動の推進



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

①森林認証推進事業

- ア 適切な森林管理により、FSC森林認証面積を49,441haまで増加
- イ 可美小学校及び浜松こども館、新川モールのFSCプロジェクト認証取得(予定)
- ウ グリーンレジリエンス推進(天竜材(FSC認証材)プレートの配布等)

②市有林管理事業

- ・モモノホツ(龍山):間伐、タカノス(龍山):間伐、霧山(引佐):間伐
- ・市有林を活用したCSR活動の推進
(小堀谷市有林をフィールドに「しずおか未来の森サポーター制度」に基づく協定締結企業が森づくり活動を実施)

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・2022年2月にSDGs推進アドバイザーが就任。今後、アドバイザーとの意見交換を進めながら、SDGsとFSCの関連性を活かし、更なるFSCへの取組を進める。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・2022年2月にSDGs推進アドバイザーが就任。今後、アドバイザーとの意見交換を進めながら、SDGsとFSCの関連性を活かし、更なるFSCへの取組を進める。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

【2019-2022 重点戦略項目No.52、164】

①森林認証推進事業

ア 天竜林材業振興協議会(市、県、国、市内森林組合等で組織)に対する負担金(FSC森林認証更新審査料負担金)

- イ 公共物件におけるプロジェクト認証審査料
- ウ グリーンレジリエンス推進事業(普及・啓発のための講演会等経費)
- エ (新規)森林サイクル適正化検証事業(効果的な皆伐・再造林や天然更新等について調査・検討)

②市有林管理事業

- ア 市有林の間伐等
- イ 市有林を活用したCSR活動の推進

事業シート (事業名) 04 治山事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

林業活動や市民の安心・安全な暮らしを守ることを目的に、林地や下流に被害が及ぶ恐れのある森林を保全する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

	⑬気候変動	⑮陸上資源	⑥水・衛生	⑨イノベーション
事業とゴールの関連性	治山事業により林業活動や市民の安心・安全な暮らしを守ることは、強靱な国土形成や持続可能な森林経営に資するものである。			

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	28,192	31,972	66,420	40,540		
	決算	14,073	26,135	37,608			
	国・県支出	5,933	15,832	18,599	8,360		
	市債						
	その他			5,580	23,000		
	一般財源 一般会計繰入金	8,140	10,303	13,429	9,180		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		9,800	9,800	9,800	11,200		
人工	正規	1.4	1.4	1.4	1.6		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		23,873	35,935	47,408	51,740		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
地元要望に基づき県単独補助金を活用した治山工事(予定箇所)の着工率(%)			目標	100	100	100	100	100	100
			実績	100	100	100			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ① 県単独補助治山事業
 - ・県単独補助により、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び治山施設の補修を実施。
- ② 市単独治山事業
 - ・国及び県の補助の対象にならない箇所を、市単独事業として、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び治山施設の補修を実施。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ① 県単独補助治山事業
 - ・佐久間町大井(間庄) 山腹工 ・佐久間町相月(相月) 流路工
- ② 市単独治山事業
 - 県営治山事業関連・施設修繕等その他治山工事、立木伐採補償費等

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・一部の繰越となった事業を除き、計画どおり事業を執行し、山地崩壊地の復旧や山地災害を未然に防ぐことができた。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・計画に基づいた事業を執行し、山地災害を未然に防止していく。
- ・森林管理が進まず荒廃状態にある森林について、山地災害予防等の観点から整備を促進させる。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ① 県単独補助治山事業
 - ・県単独補助により、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び治山施設の補修を行う。
- ② 市単独治山事業
 - ・国及び県の補助の対象にならない箇所を、市単独事業として、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び治山施設の補修を行う。

事業シート (事業名) 05 森林保護事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

森林や農林水産物を様々な病虫や鳥獣の被害から守ることを目的に、必要な対策事業を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法、鳥獣保護法、森林病害虫等防除法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

				⑥水・衛生		⑨イノベーション	
		⑬気候変動		⑮陸上資源			
事業とゴールの関連性	森林保護事業により森林や農林水産物を様々な病虫や鳥獣の被害から守ることは、強靱な国土形成や持続可能な森林経営に資するものである。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	19,939	32,118	26,010	22,538		
	決算	19,522	28,473	18,620			
	国・県支出	495	513	549	582		
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	19,027	27,960	18,071	21,956		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		18,660	12,280	12,040	18,760		
人工	正規	2.1	1.6	1.6	2.0		
	再任用(31h)	1.1	0.3		0.7		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.3	0.8		
年間経費(予算又は決算+A+B)		38,182	40,753	30,660	41,298		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
松くい虫被害木の被害率(三方原防風林・舞阪町民の森) ※被害本数/全本数(%)			目標	1	1	1	1	1	1
			実績	0.98	0.97	0.96			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	06	01	001728000	05	林業振興課	小林 和重	2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ①松くい虫被害対策事業
 - ・三方原防風林や森林公園周辺など、松林における松くい虫被害の拡大を防止するため、伐倒駆除及び薬剤散布を実施。
- ②カモシカ被害対策事業
 - ・造林木などに被害を与えるカモシカ(特別天然記念物)の生息密度を適正にするため、カモシカの生息状況や被害状況の調査、捕獲による個体数調整を実施。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

- ①松くい虫被害対策事業
 - ・浜北森林公園周辺・舞阪町民の森(薬剤散布)、三方原防風林ほか(被害木の伐倒駆除)／伐倒材積:199m³
- ②カモシカ被害対策事業
 - ・カモシカ個体数調整(63頭)、被害実態調査(41箇所)、野生動物対応報奨金
- ③野生鳥獣出没緊急対応事業
 - ・住宅地等への野生鳥獣出没に対する緊急出動

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 改善 小項目 業務改善 / 一部委託 事業費 拡大 人工 現状

- ・松くい虫被害に薬剤散布・樹幹注入・伐倒駆除等により対応しているものの、被害拡大スピードに追い付いていないのが現状である。
- ・2018年度から浜北区・天竜区においてニホンザル等の出没が増加し、市民などから通報により現場出動による追い払い、注意喚起等の職員負担が増大したため、2019年度から「野生鳥獣出没緊急対応事業」を新設。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 縮小 人工 現状

- ・松くい虫被害木への対策を継続するとともに、災害対策として松枯れ・巨木化した木を伐採・剪定工事を実施し、防風林機能の維持を図る。
- ・カモシカによる森林被害を抑制するため、計画どおりに個体数調整を実施していく。
- ・野生鳥獣出没緊急対応業務をを引き続き実施し、住宅地等への野生鳥獣出没に対する市民等の不安を解消する。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ①防風林等被害対策事業
 - ・三方原防風林や森林公園周辺など、松林における松くい虫被害の拡大を防止するため、伐倒駆除及び薬剤散布を行う。
- ②カモシカ被害対策事業
 - ・造林木などに被害を与えるカモシカ(特別天然記念物)の生息密度を適正にするため、カモシカの生息や被害状況の調査、捕獲による個体数調整を行う。
- ③野生鳥獣出没緊急対応事業
 - ・野生鳥獣出没による市民等の不安を解消するため、委託業者が追い払いや注意喚起等を迅速に行い、地域の安心・安全を確保する。

事業シート (事業名) 06 森林経営管理推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

適切に管理されていない森林に対して所有者の同意を得て経営管理権等を設定し、意欲と能力のある林業経営者に森林経営管理を委ねることで、林業の成長産業化及び適切な森林整備を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2019	-	一般会計	自治事務(その他)	森林経営管理法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(1)才						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	53						

(4) 関連するSDGsのゴール

				⑥水・衛生		⑨イノベーション
	⑫生産・消費	⑬気候変動		⑮陸上資源		
事業とゴールの関連性	森林経営管理法施行に伴い、森林を適切に管理していく本事業は、強靱な国土形成や持続可能な森林経営に資するものである。					

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	14,278	26,667	36,219	48,799		
	決算	14,278	26,666	30,954			
	国・県支出						
	市債						
	その他	14,278	26,666	30,954	48,799		
	一般財源						
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	1,400	1,400	1,400	1,400		
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.2		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		15,678	28,066	32,354	50,199		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
FSC森林認証面積(ha)	I-1(1) 才	52	目標	45,500	48,900	49,200	49,500	49,800	50,100
			実績	48,542	49,130	49,441			
森林経営計画認定面積(ha)		53	目標	18,400	19,600	20,800	22,000	23,200	24,400
			実績	21,083	18,101	18,568			
森林管理システム調査面積(ha)			目標	180	240	240	360	360	360
			実績	161	272	294			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

【2019-2022 重点戦略項目No.53】

- ① 森林管理意向確認等調査業務
 - ・森林所有者への経営管理意向調査・確認
 - ・経営管理権集積計画策定
 - ・計画対象の森林所有者同意取得
 - ・経営管理権集積計画の告示、経営管理権設定
- ② 浜松版森林経営管理事業
 - ・経営管理権集積計画に基づく間伐(環境伐)の実施



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ① 森林管理意向確認等調査業務の実施

<ul style="list-style-type: none"> ・春野地域 調査人数: 49人、調査面積: 88.15ha ・佐久間1地域 調査人数: 19人、調査面積: 38.00ha ・龍山地域 調査人数: 17人、調査面積: 34.99ha 	<ul style="list-style-type: none"> ・水窪地域 調査人数: 18人、調査面積: 39.89ha ・佐久間2地域 調査人数: 10人、調査面積: 42.86ha ・引佐地域 調査人数: 35人、調査面積: 49.93ha
---	---
- ② 浜松版森林経営管理事業
 - ・間伐(環境伐): 8.68ha(2箇所/水窪地域、引佐地域)

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・前年度の調査結果に基づき、経営管理権集積計画を策定して実施する間伐(環境伐)については、当初予定は24haだったが、希望者が少なかったため8.68haとなった。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・財源となる森林環境譲与税が年々増額されるため、財源に見合った事業量に拡大する。
 ・2019年度から開始された制度であるため、森林所有者や森林組合等関係事業者へより丁寧な説明に努める。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

【2019-2022 重点戦略項目No.53】

- ① 森林管理意向確認等調査業務
 - ・森林所有者への経営管理意向調査・確認
 - ・経営管理権集積計画策定
 - ・計画対象の森林所有者同意取得
 - ・経営管理権集積計画の告示、経営管理権の設定
- ② 浜松版森林経営管理事業
 - ・経営管理権集積計画に基づく間伐(環境伐)の実施

